

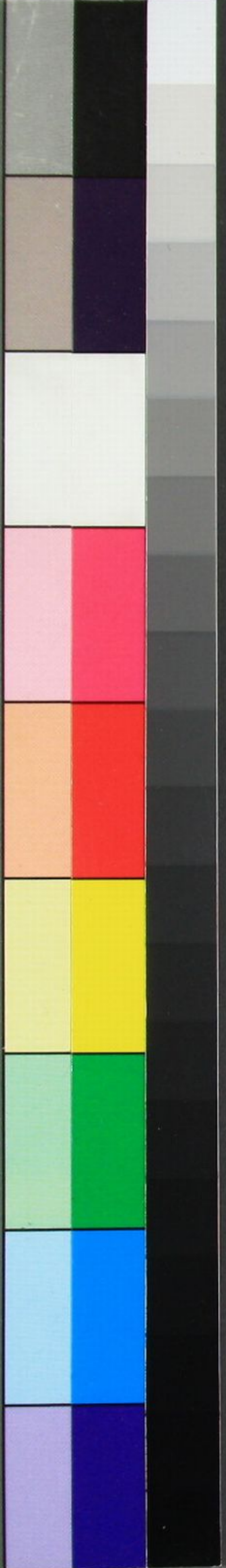


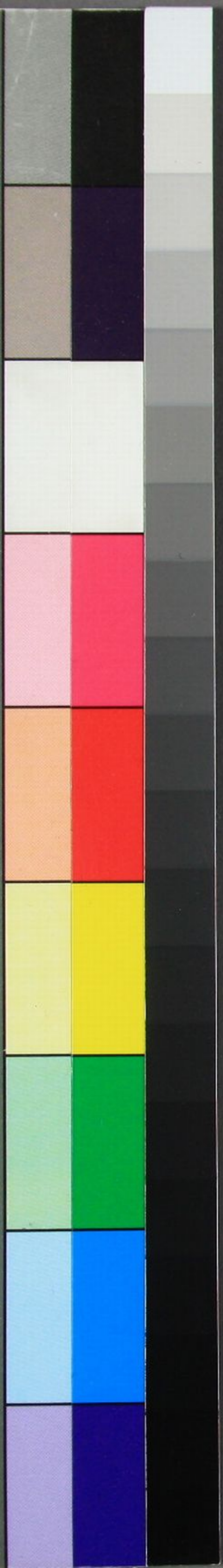
十四篇下



新
神
因
自
卷
十
紫

十四篇上





古き物語ハ巻物多ク一と云ふ小源氏の最初より綴本より五巻
 巻一ハ抄り五十四帖と云則ハ巻物多クね夏明之若菜の巻ハ
 多クねどの巻と云ハ上下有てりれも紙員百枚をかり然れと思ハ
 篇火関屋ハ僅小四片五片之長短比一ハ参差ぬが目先を異する才女が
 新案巻物と云積と云見苦一と云帖とせる一ハ東海道の宿次
 小宮根八里の長丁場あれハ五井赤坂ハ半里ハ一ハね源氏の御世ハ
 ありての制と云もかくも長譚ハ其一段の長きハ過る飽りのまを
 廣沼信濃が父の話四五十丁胡蝶秋津ハ久く出ぬと云人ハつら
 ぬハ一十五編より後々の短き丁場も形容かへさせ毎火の一本
 灰も二人の話と校と云一

柳之が控はる

室丁一曰

むねまゝ源氏
小ぶるはき

十四帖と







此の僧は
 法雨の如く
 甘露を
 洒らす
 其の徳は
 草木に
 及ぶ
 其の功は
 大地に
 及ぶ
 其の徳は
 草木に
 及ぶ
 其の功は
 大地に
 及ぶ

此の女は
 花の如く
 艶やかに
 咲く
 其の容は
 雲霞に
 似る
 其の心は
 明月に
 似る
 其の徳は
 草木に
 及ぶ
 其の功は
 大地に
 及ぶ



此の女は
 花の如く
 艶やかに
 咲く
 其の容は
 雲霞に
 似る
 其の心は
 明月に
 似る

此の女は
 花の如く
 艶やかに
 咲く
 其の容は
 雲霞に
 似る
 其の心は
 明月に
 似る
 其の徳は
 草木に
 及ぶ
 其の功は
 大地に
 及ぶ

Handwritten text in the upper right section of the right page, including the characters '野田十四'.



Handwritten text in the lower right section of the left page, including the characters '野田十四'.



種彦著
國貞画

丹波

種彦著
國貞画

實母散

本家
私方実用さ人の病を治すに
よて年来賣取の事ありし
向もよりの引取りありし
中播磨傳馬町一丁目
一葉堂製藥所

鼠祠通夜譚

四編より
八編まで
出板仕

柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

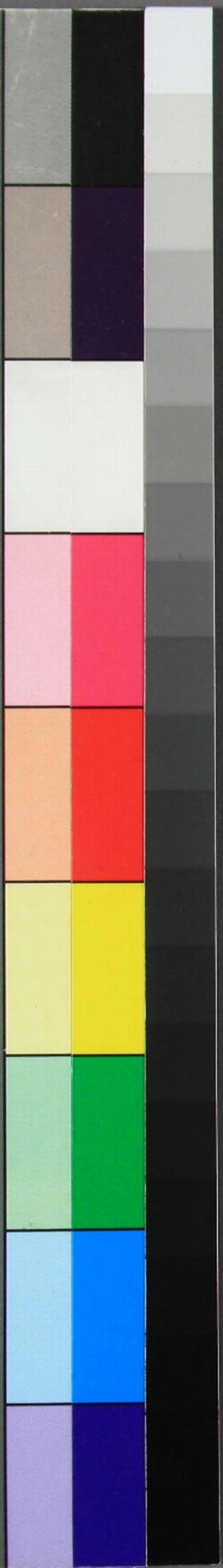
厚化粧萬年嶋田

初編より
追々出板
春秋とん

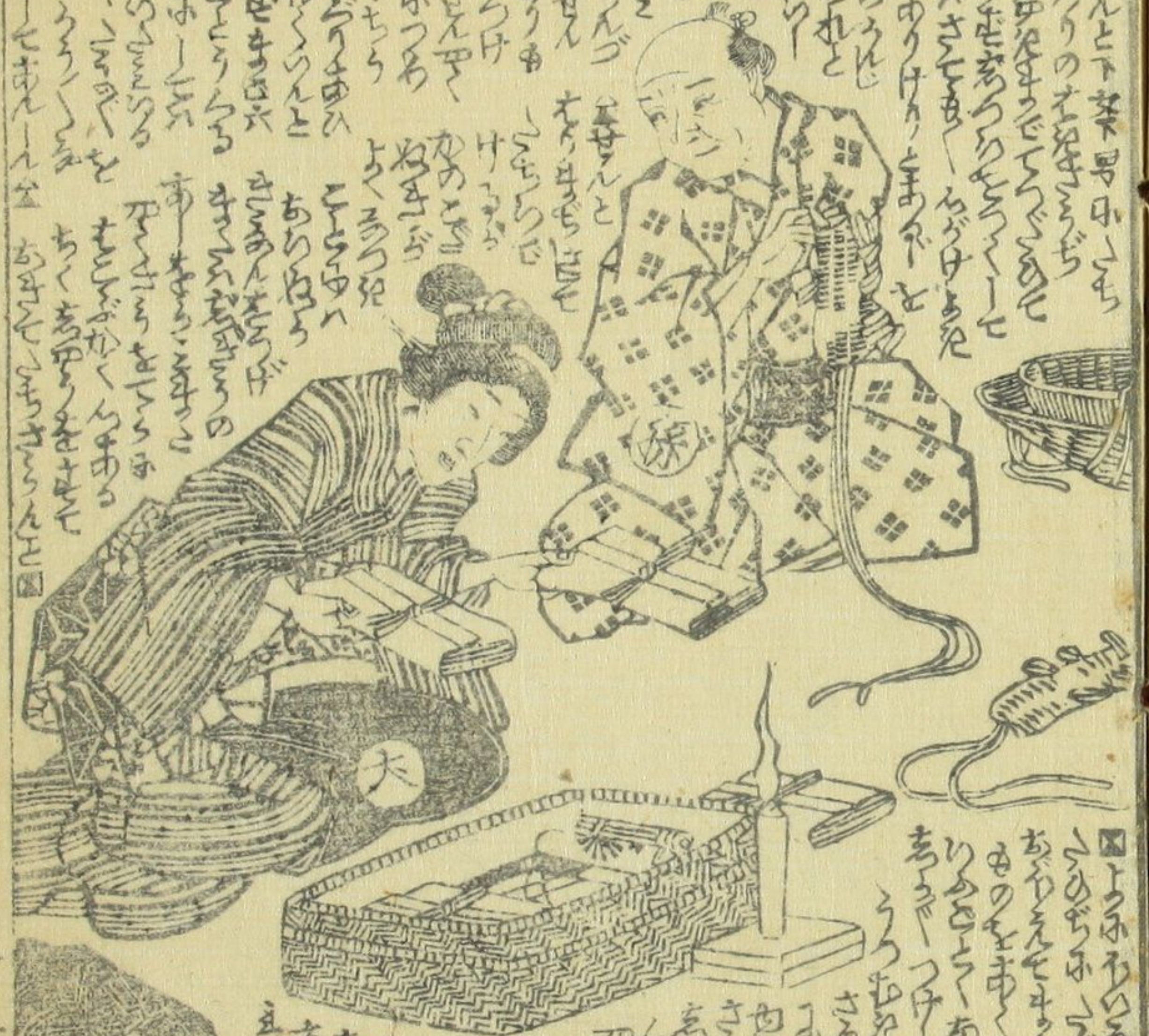
爲永春水作
梅蝶樓國貞画

この世は昔く少汰せう、姐己阿百が傳あり、是れ和尚臭の惡證
賣縁芦田の家小仇做んと、是れ愛小忠臣孝女ありて、渠毒手小苦を
あつとる衣、花の中なる目く理のほろ、草紙あり





Handwritten text in a vertical column on the left side of the page, likely a list or index of items.



Handwritten text at the bottom left of the page, possibly a signature or date.

小傑巻
種方作
国貞書

十四下

の



Vertical text on the left side of the top illustration, likely a title or introductory text.



Vertical text on the left side of the bottom illustration, likely a title or introductory text.



Vertical text on the right side of the bottom illustration, likely a title or introductory text.

Vertical text on the right side of the top illustration, likely a title or introductory text.



Main body of vertical text on the right side of the bottom illustration, likely a title or introductory text.

